

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-25436(P2009-25436A)

【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2007-186609(P2007-186609)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 09 G 3/34 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

H 04 N 13/04 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 6 0 X

G 09 G 3/34 J

G 09 G 3/20 6 2 3 D

G 09 G 3/20 6 2 1 A

G 02 F 1/133 5 5 0

H 04 N 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月11日(2010.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フレーム画像を表示する画像表示手段と、

該画像表示手段に前記フレーム画像に係る画像データを書き込む書き込み手段と、

該書き込み手段に、画像信号の周波数がn(nは2以上の自然数)倍された前記画像データを供給する画像データ供給手段と、

前記画像表示手段に対して光源光を照射する光源手段と、

前記書き込まれる画像データに含まれる右眼用画像データ及び左眼用画像データ夫々に係るフレーム画像が、各々前記周波数に応じた第1期間ずつ交互に前記画像表示手段に表示され、且つ前記書き込まれる画像データを前記第1期間より短い第2期間かけて前記画像表示手段に書き込むように、少なくとも前記書き込み手段を制御し、前記第1期間のうち前記第2期間中には消灯し、且つ前記第2期間に続く第3期間中に点灯するように前記光源手段を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項2】

フレーム画像を表示する画像表示手段と、

該画像表示手段に前記フレーム画像に係る画像データを書き込む書き込み手段と、

該書き込み手段に、画像信号の周波数がn(nは2以上の自然数)倍された前記画像データを供給する画像データ供給手段と、

観測者の右眼に到達する光及び左眼に到達する光を相互に独立して遮光する遮光手段と

、前記書き込まれる画像データに含まれる右眼用画像データ及び左眼用画像データ夫々に係るフレーム画像が、各々前記周波数に応じた第1期間ずつ交互に前記画像表示手段に表示され、且つ前記書き込まれる画像データを前記第1期間より短い第2期間かけて前記画像表示手段に書き込むように、少なくとも前記書き込み手段を制御し、前記第1期間のうち前記第2期間中には前記右眼に到達する光及び左眼に到達する光の両方を遮光し、且つ前記第2期間に続く第3期間中に前記右眼に到達する光及び前記左眼に到達する光のうち前記書き込み手段によって書き込まれた前記右眼用画像データ又は左眼用画像データに対応する一方を遮光しないと共に他方を遮光するように、前記遮光手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記第3期間中に、前記書き込み手段によって書き込まれた右眼用画像データ又は左眼用画像データを繰り返し書き込むように、少なくとも前記書き込み手段を制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の電気光学装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記第3期間中に、前記書き込み手段によって書き込まれた右眼用画像データ又は左眼用画像データを維持するように、少なくとも前記書き込み手段を制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の電気光学装置。

【請求項5】

前記画像表示手段は、前記フレーム画像をライン走査により表示することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項6】

前記遮光手段は、液晶シャッタであることを特徴とする請求項2に記載の電気光学装置。

【請求項7】

請求項1乃至6のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電気光学装置及び電子機器